

リビンマッチ 売りたい街ランキング 2019 <関東版> (TOP20)

順位		駅名	路線名	順位		駅名	路線名
2019年	2018年			2019年	2018年		
1位	1位	平塚	JR東海道線	11位	5位	柏	JR常磐線ほか
2位	圏外	土浦	JR常磐線	12位	圏外	かしわ台	相模鉄道本線
3位	圏外	八街	JR総武本線	13位	67位	小山	JR宇都宮線ほか
4位	圏外	黒磯	JR宇都宮線ほか	14位	32位	新小岩	JR総武線
4位	42位	水戸	JR常磐線ほか	14位	15位	東浦和	JR武蔵野線
6位	49位	本厚木	小田急小田原線	16位	圏外	西那須野	JR宇都宮線
7位	31位	西八王子	JR中央線	17位	13位	保谷	西武池袋線
8位	3位	宇都宮	JR宇都宮線ほか	18位	圏外	君津	JR内房線
9位	圏外	牛久	JR常磐線	18位	7位	辻堂	JR東海浜線ほか
10位	圏外	鶴間	小田急江ノ島線	18位	42位	藤	JR京浜東北線

不動産売買依頼の多い街

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズ（東京都中央区、川合大無社長）は、同サイトに不動産売却の査定依頼があった所在地をもとに関東地方の「売りたい街ランキング2019」を駅名で集計。査定依頼件数が多かった順番にランキング化したところ1位は2年連続で湘南の平塚駅だった。JR東海道線と湘南新宿ラインなどが通り、横浜や都内のターミナル駅へのアクセスが良く、平塚市の人口が減少傾向にある半面、世帯が増加しており、不動産の流動性

が高まったと分析する。2位は前年調査で圏外だった茨城県の土浦駅がラン

クインした。土浦市には常

磐自動車道の桜土浦と土浦

北ICが通り、土浦駅はJ

R常磐線の始発・終点列車

も多いため、電車に座って

の通勤も可能でアクセスの

ほか再開発も進んでいるこ

とが評価されたとする。

3位は、千葉県の八街駅

でこちらも前年の圏外から

のトップ3位。落花生の生

産地で有名だが、バブル期

の住宅の乱開発を背景に、

その頃の住宅の売却依頼が

多い可能性を指摘した。

このほかトップ10入り

は、黒磯駅と水戸駅が4位

6位に本厚木駅、7位に西

八王子駅、8位に宇都宮駅、

9位に牛久駅、10位に鶴間

駅となった。

リビンマッチ調査 関東圏の沿線駅 トップ3は平塚、土浦、八街

トップ20内には、JR宇都宮線とJR常磐線の駅が4駅ずつランクイン。黒磯や西那須野は那須塩原市内の駅でありバブル期の人気の別荘地。当時購入した世代の高齢化に伴い売却を考

えている人が多いのではな

いかと分析している。

また常磐線は、つくばエ

クスプレスが沿線開発で地

価が上昇し、人口も増加傾

向をたどる一方、常磐線の

利用客数が減少傾向として

常磐線沿線地域の不動産の

流動性にも影響を与えてい

るとした。